

令和2年11月20日	
所 属	教育委員会事務局 学校給食課
所属長	浦田 正裕
電 話	06-4950-5675

【取材案内】市内産米や伝統野菜「田能の里芋」を使用した学校給食を提供

尼崎市では、食育の一環として市立の小学校（41校）及び特別支援学校（1校）における学校給食（約2万3,000食）に市内産の米を使用したご飯を提供します。また、一部の学校（20校）においては、伝統野菜として園田地区の田能で栽培されている「里芋」を使用した献立を提供します。

本市における学校給食の食材については、兵庫県産を中心に使用し、市内産の小松菜やほうれん草等の野菜や特産品を取り入れることにより、地域の産業や食文化への理解と愛着を深め、食を大切に作る心を育てることを目的に取り組んでいます。

ぜひ、当日の様子など御取材いただきますようお願い申し上げます。

1 市内産米や伝統野菜「田能の里芋」を使用した学校給食について

市内産米については、JA兵庫六甲の協力を得て、12月2日(水)若しくは3日(木)に全学校(42校)を対象に提供します。

また、田能の里芋については、生産量が限られていることから、これまで機会あるごとに小学校の献立に活用しており、今年度については、11月27日(金)に11校(約5,900食)で「かす汁」、12月3日(木)に9校で「さつま汁」(約6,500食)として提供する予定となっています。

▼取材可能な学校

市立七松小学校 日時：11月27日(金)午後0時15分～午後1時。場所：6年1組又は2組
当日の献立：ごはん、牛乳、とり肉のしょうが焼き、水菜の煮びたし、かす汁

2 取材の申し込み

当日、給食の様子を取材していただける場合、前日11月26日正午までに電話で七松小学校の江上校長(電話：06-6417-7741)へ御連絡ください。

3 「たののサトイモ」リーフレットについて

12月3日(木)に使用する里芋は「あまがさきチャレンジまちづくり事業」の助成を受け、都市農地の保存及び再生、尼崎の伝統野菜の周知を目的に田能の農地で田能の里芋とさつま芋を栽培し、里芋を活用した新商品の開発に取り組む活動等を行っている市民団体「尼崎都市農地再生協議会」(代表者：中村 昇)が、休耕田にて栽培したものとなっています。

また、同協議会では、伝統野菜として受け継がれている田能の里芋を児童等にPRし、より多くの市民に知ってもらえるようにと、このほど、「たののサトイモ」(A4判両面カラー印刷)を作成しています。

この度の学校給食での里芋使用に当たり、事前学習や給食室の掲示板等での掲示用にと、900部の提供があり、市教育委員会を通して11月27日及び12月3日に里芋の提供が行われる各学校(20校)に配布しています。



同協議会が作成したリーフレット